

シラバス参照

ファイナンス入門（'23）

Introduction to Corporate Finance（'23）

主任講師名：齋藤 正章（放送大学准教授）、阿部 圭司（高崎経済大学教授）

【講義概要】

好むと好まざるに関わらず、ファイナンスは私たちの暮らしと密接に関連している。それは職業の有無や年齢とは関係なくである。しかし、中には「お金の話はちょっと・・・」と敬遠する人が多いのも事実である。本科目は、より多くの人にファイナンスをより身近に感じ、理解してもらうことを目的としている。そのために、①ファイナンスと市場（第2～8回）、②ファイナンスと企業（第9～13回）、③ファイナンスと情報・今日的課題（第14回～15回）という3つのテーマで講義を構成し、内容の充実と理解の促進を図っている。

【授業の目標】

ファイナンスの学習がどれだけ大事かという、ファイナンス理論の多くがノーベル経済学賞を受賞していることで分かるだろう。その理論とは、ポートフォリオ理論、CAPM、MM理論、ブラックショールズモデル、行動ファイナンス等があげられる。これら理論のエッセンスは、各回で紹介される。また、理論だけでなく現実との照応についても可能な限り解説している。こうした理論と実務を身につけることによって、経済社会でのファイナンスの役立ちについて理解することを目指すとしている。

【履修上の留意点】

意識するとファイナンスに関する情報は日々あふれている。そうした日頃読み飛ばしている新聞や雑誌、インターネット等の経済記事に関心をもつとより身近な問題としてとらえることができるだろう。また、計算式が出てくるので、読むだけでなく、自分でも実際に解いて確認してほしい。

メディア	テレビ
放送時間	2023年度〔第1学期〕（火曜）00:00～00:45
単位認定試験日／時間	2023/07/20 3時限（11:35～12:25）
学部・院	教養学部
科目区分	（'16カリ） コース科目 専門科目 社会と産業
科目コード	1539558
ナンバリング	320
単位数	2単位
単位認定試験平均点	
インターネット配信	あり
改訂回	なし
改訂内容	
履修制限	

各回のテーマと授業内容

第1回 ファイナンス概論 ファイナンスとは何か。ファイナンスは私たちの暮らしと密接な関係を持っている。本章ではファイナンスと経済・社会との関係を概観し、ファイナンスを学ぶ意義について確認する。 【キーワード】 企業活動、投資家（家計）、市場（マーケット）、間接金融、直接金融、金融機関 執筆担当講師名：齋藤 正章（放送大学准教授） 阿部 圭司（高崎経済大学教授） 放送担当講師名：齋藤 正章（放送大学准教授） 阿部 圭司（高崎経済大学教授）
第2回 貨幣の時間価値と割引現在価値 今日の1万円と1年後の1万円は同じ価値を持たない。それは時間の価値が反映されるべきだからである。時間の価値を表象したものが金利である。金利を用いてわれわれは現在の価値を将来の価値へと変換可能となる。逆に金利を使って将来の価値を現在の価値へと変換することもできる。本章ではファイナンスにおける重要な概念である時間の価値と割引現在価値の関係について学ぶ。 【キーワード】 貨幣の時間価値、金利、割引計算、割引現在価値、複利現価係数 執筆担当講師名：阿部 圭司（高崎経済大学教授） 放送担当講師名：阿部 圭司（高崎経済大学教授）
第3回 株式と債券の価値 資本市場で取引される主要な資産の代表が株式、債券である。本章では株式と債券の特徴について学ぶ。さらに第2回で学習した貨幣の時間価値と割引現在価値の関係を用いて株式や債券の価値について学ぶ。 【キーワード】 株式、債券、株式と債券の価値 執筆担当講師名：阿部 圭司（高崎経済大学教授） 放送担当講師名：阿部 圭司（高崎経済大学教授）
第4回 リターンとリスク 将来、どのような出来事が起こるかは不確定である。その結果、経済的な不利益が生じることもあり、これを一般的にリスクという。本回ではリスクを定義すると同時に、ファイナンスで扱うリスクの特徴について説明

する。また、リスクとその報酬たるリターンの関係と計測方法について学び、無差別曲線によるリスク資産の選択を考察する。 【キーワード】 リスク、リターン、期待値(平均値)、分散・標準偏差、無差別曲線 執筆担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授)
第5回 ポートフォリオのリターンとリスク 複数の資産からなる資産全体をポートフォリオと呼ぶ。ポートフォリオへ分散投資することによりポートフォリオ全体のリスクを減少させることができることが知られている。本回ではこのポートフォリオのリターンとリスクの持つ性質について学び、最適なポートフォリオ選択とは何かを考える。 【キーワード】 ポートフォリオ、分散投資、投資機会集合、有効フロンティア、共分散、相関係数、ポートフォリオのリターンとリスク、マルチファクターモデル 執筆担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授)
第6回 CAPM－資本資産評価モデル－ 市場が正しく機能しているとき、資産のリターンはそのリスクに応じて決定される。資本資産評価モデル(Capital Asset Pricing Model: CAPM)は市場の均衡状態において資産のリスクとリターンの関係を明らかにしたモデルである。本回ではリスク指標あるベータをはじめとしたCAPMの含意について学ぶ。 【キーワード】 分離定理、資本資産評価モデル 執筆担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授)
第7回 デリバティブ－派生証券－(1) デリバティブとは派生証券とも呼ばれ、その価格が株式や債券など、別の資産の価格に依存して変動する性質を持つ資産のことを総称したものである。デリバティブは仕組みや計算が難しい、リスクが大きく投機性があるなどのイメージがあるが、その本質は意外に簡単で便利な道具でもある。本回では先物取引、オプション取引など基本的なデリバティブの種類と性質について学ぶ。 【キーワード】 先物取引、スワップ取引、オプション取引 執筆担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授)
第8回 デリバティブ－派生証券－(2) デリバティブは本来、投機ではなくリスクヘッジの道具である。本回では先物やオプションを用いたヘッジの仕組みや投資手法、さらにデリバティブの評価方法について学ぶ。 【キーワード】 先物取引、オプション取引、ヘッジ 執筆担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名:阿部 圭司(高崎経済大学教授)
第9回 資金調達 企業は事業活動を行うために資金を調達しなくてはならない。この資金調達源が企業内部にあるか外部にあるかで、内部金融と外部金融に分けられ、さらに外部金融は直接金融と間接金融に分類される。また、内部金融等その他の金融手段についても解説する。 【キーワード】 資本市場、外部金融、直接金融、株式発行、銀行、借入金、企業間信用、内部金融 執筆担当講師名:齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名:齋藤 正章(放送大学准教授)
第10回 財務諸表と財務業績の測定 資金の調達と運用の結果である財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)について学ぶ。さらに、財務諸表の分析手法についても学習する。 【キーワード】 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、収益性の分析、安全性の分析、効率性の分析 執筆担当講師名:齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名:齋藤 正章(放送大学准教授)
第11回 資本コスト 資本コストとは、企業側から見れば、資金(資本)を調達するためのコストであると解釈される。また、出資者側から見れば、差し出す資金に対する見返りであるとも考えられる。第3回で紹介した割引計算の割引率に

も資本コストが利用される。資本コストの概念はファイナンス理論において最重要であると同時にわかりづらい側面もある。本講義では、この資本コストについて明らかにする。 【キーワード】 資本コスト、株式資本コスト、負債資本コスト、加重平均資本コスト(WACC)、MM理論 執筆担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授)
第12回 投資意思決定 企業では調達した資金を効率よく運用(経営)することが求められる。そのための投資意思決定の理論やルールについて学ぶ。 【キーワード】 代替案、機会原価、内部利益率法、現在価値法 執筆担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授)
第13回 企業価値評価 企業価値とは、将来の企業の経営活動の成果を映し出すものに他ならない。これまでの議論をもとに企業価値評価の技法について学習する。 【キーワード】 キャッシュフロー、配当割引モデル、企業付加価値(EVA) 執筆担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授)
第14回 情報非対称 市場における参加者が持つ情報に差がある、つまり当事者間に情報格差があるとき、情報の非対称性が存在するという。情報の非対称性によって、情報優位者は情報不利者の犠牲のもと、自身にとって有利な取引結果を引き出すことができる。本回では、その問題点を指摘し、解決策を考察する。 【キーワード】 情報非対称、代理関係、モラル・ハザード、アドバース・セクション 執筆担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 放送担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授)
第15回 ファイナンスと今日的課題 市場とは本来、市場参加者の自由に委ねられるべきものである。しかし、需要と供給に基づいた単純なルールでは、不都合を生じるようになるのも事実である。現代の市場がどのような変容を繰り返し、それに対応する形でどのように規制も変化してきたのかについて学び、これからの市場と規制のあり方について考える。また、ファイナンスに対する新しいアプローチとしての行動ファイナンスについても触れる。 【キーワード】 証券市場、市場に対する規制、M&A、行動ファイナンス 執筆担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 阿部 圭司(高崎経済大学教授) 放送担当講師名: 齋藤 正章(放送大学准教授) 阿部 圭司(高崎経済大学教授)

[戻る](#)